

防犯性能の高い建物部品の事、ご存知ですか？

CP 部品

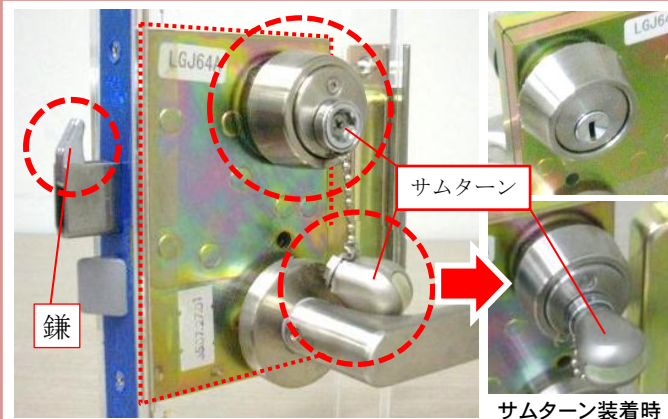
一定の基準を満たした防犯性能の高い建物部品(ドアやガラス、錠等)の事を CP 部品と呼びます。
(CP : 「Crime Prevention(犯罪防止)」の頭文字からそう呼ばれます。)
CP 部品はドロボウが忍び込もうとして壊し始めてから 5 分以上耐えられるかどうか等の試験に合格しているため、高い防犯性能を期待できます。

今回は数ある CP 部品の中でも CP 錠をご紹介します。

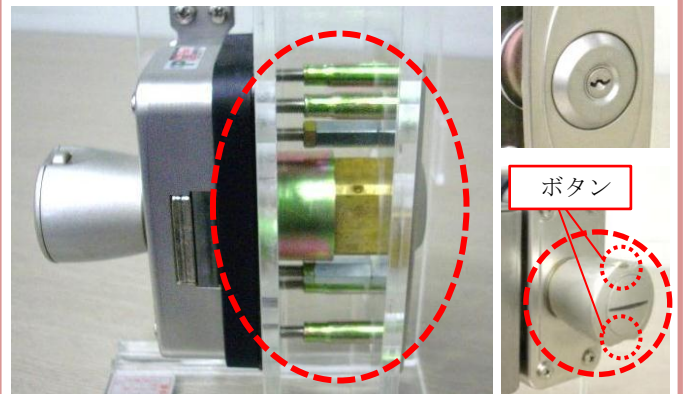


まずは錠の各部分の名称をご紹介します。

左の写真は一般的な錠の写真です。(この写真は CP 錠ではありません)
鍵をかける時に回すつまみを「サムターン」、鍵をかけた時に横に飛び出す部品の事を「デッドボルト」と呼びます。



上の写真は CP 錠です。
デッドボルトからは鎌と呼ばれる部品が上に飛び出し、ドアを壊して中に入ろうとしても鎌が引っかかって開きにくくなっています。
サムターンは取り外せるようになっており、ドリルで穴を開けて外から鍵を解錠する「サムターン回し」と呼ばれる手口に有効です。
また、ドリル等で穴を開けようとしても鍵穴の周りや錠全体は非常に硬くなっており、壊しにくくなっています。



上の写真も CP 錠です。左の写真の錠はドアに埋め込んで使いますが、この錠はドアの表面に直接取り付けられるもので、主に補助錠として使われます。
全部で 6 か所をネジで固定しているのでもぎ取られにくくなっています。
また、この錠のサムターンは上下のボタンを同時に押しながらでないと回らないため、大きな穴を開けないと外からは操作できません。
この錠も全体が硬くできており、壊しにくくなっています。



石川県防犯設備促進協会錠部門会長
中島氏からのアドバイス

自分が泥棒になったつもりで考えると、一つの扉に二つの錠がついていた方が、開けにくいことは一目瞭然。安全、安心のために、CP 錠を補助錠として取り付け、ツーロックにする事をお薦め致します。工事も半日ほどで終わります。



どちらの錠にも高い防犯性能を示す CP マークが入っています。
上で紹介した錠は CP 部品の中でもほんの一部です。

このような CP 部品を積極的に活用し、大事な我が家を守りましょう!

